

# 希望の風

November

下関市長の部屋

## すべては今の、そして 将来の市民のために

**こ**んには。市長の前田晋太郎です。先日、市議会9月定例会が終了し、すべての議案と補正予算案（3億2581万円）の議決をいただきました。大変多くの議論が行われた1カ月でしたが、その大きな論点はやはり市庁舎建て替え案件であったと思います。昨年の9月議会で議会承認を受けた60年経過した旧庁舎に対する「耐震補強工事」は約25億6000万円であったのに対し、今回の「規模縮小の新築案」の提示額は約22億円、金額だけでも約3億円の市民負担が軽減されます。さらに現在の駐車場からの分かりにくい動線が改善され、新築のため、電気代などの維持管理コストも年間約800万円軽減されるなど、さまざまなプラス

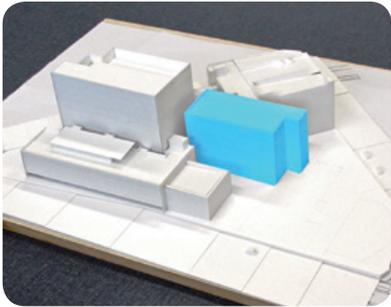
要因を盛り込んだ案件でした。しかし、既に議会の承認を受けていた耐震補強工事の事業計画を変更することは前例もなく大変なことでした。

## 耐

震補強工事は相手業者と契約を交わしてしましたので、契約解除に関するやり取りや、損害賠償金についても大きなハードルがありました。庁舎整備技術支援室を設け、職員一丸となって取り組み、議会に臨みました。そして、議員の皆さん、業界の皆さんにも、私の熱く強い思いをご理解いただき、承認をいただいたことは本当にありがたいことだと思います。

それもすべては市民のため。将来の負担を抑え、次の世代にバトンタッチができる一つの形を作ることができたと思います。

新築庁舎(色付き部分)の整備模型



新築庁舎(色付き部分)の整備模型

## 下関市初！

### 地域おこし協力隊員着任

今月は、下関市で初めて菊川地区に着任した「地域おこし協力隊員」と着任式の様子を紹介します。各地の「まちづくり協議会」の取り組みを紹介する「まち協通信」はお休みします。

### 初の地域おこし協力隊員着任

平成29年10月2日(月)、下関市の地域おこし協力隊員が着任し、着任式が市役所でありました。



左から田中自治会長(道市)、三浦自治会長(響井)、柴田地域おこし協力隊員、前田市長、貴和の里につどう会の吉村会長、岡本事務局長

これまでの経験を生かし、菊川を元気にしていた「だきたい」と激励の言葉を掛けました。これを受けて、柴田隊員は高校時代からプレーしているラグビーチームのように、地域行政の皆さんとの信頼関係を築きながら、菊川町を活性化させていきたい」と抱負を述べました。また、柴田隊員の活動先団体となる貴和の里につどう会の吉



前田市長(右)から地域おこし協力隊員任命書が手渡されました

このたび、新たに地域おこし協力隊員として着任したのは、柴田勝康さん(大阪府出身、42歳)で「和牛経営を中心とした農業後継者育成」をテーマとして、菊川地区で活動を開始しました。

式では、前田市長が「勇気をもって下関市に飛び込んでいただきありがとうございます。地域の皆さんと連携を取りながら、若い力で



笑顔で抱負を語りました

村会長からは「柴田さんの思いを重く受け止め、志を遂げられるように、一緒に頑張りたい」とのお言葉をいただきました。

柴田隊員は、今後、貴和の里につどう会で和牛飼育を中心とした農作業を学びながら、インターネットなどにより、菊川地区の魅力在全国に発信していく予定です。今後の活躍が期待されます。



前田市長(右)とがっちり握手を交わす柴田隊員

### まちづくり推進部 まちづくり支援課

TEL 231-1261  
FAX 231-1405